

平成24年度に樹立・策定する千葉北部計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



犬吠埼海岸に位置する潮害防備保安林

千葉県



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は、千葉県の北部に位置し、千葉市、銚子市、長柄町に所在する国有林野44haを対象。

イ 国有林の特徴

国有林野は、主に犬吠埼に位置し、水郷筑波国定公園等に指定されている。

当計画区の君ヶ浜国有林は、海岸林として風光明媚で日本の渚百選の一つとなっている。内陸部の農地等を強風や潮害から保全しているほか、林内の遊歩道は地元市民の散策の場として利用されている。

ウ 森林資源の状況

- ・人工林が8ha、天然林が34ha。
- ・人工林は、植栽したクロマツとともに生育している広葉樹の育成を図り、地域の防災機能の役割を果たしている。
- ・天然林は、クロマツやタブノキなどの暖温帯性の広葉樹が多い。

エ 機能類型別面積

森林と人との共生林が42ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

該当なし		
------	--	--

イ レクリエーションの森

該当なし		
------	--	--

ウ 国民参加の森づくり

該当なし		
------	--	--

エ 伐採・保育事業量

主伐（臨時伐採のみ）	250 m ³
------------	--------------------

オ 林道の事業量

該当なし		
------	--	--

カ 治山の事業量

保安林整備	5 ha
-------	------



マツクイ被害調査



伐倒駆除によるマツクイ被害蔓延防止

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全をはじめ生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 景観等に配慮した森林整備を推進。
- (2) 治山事業により保安林（海岸林）の整備を計画的に推進。
- (3) 不法投棄の防止のための林野巡視の推進。

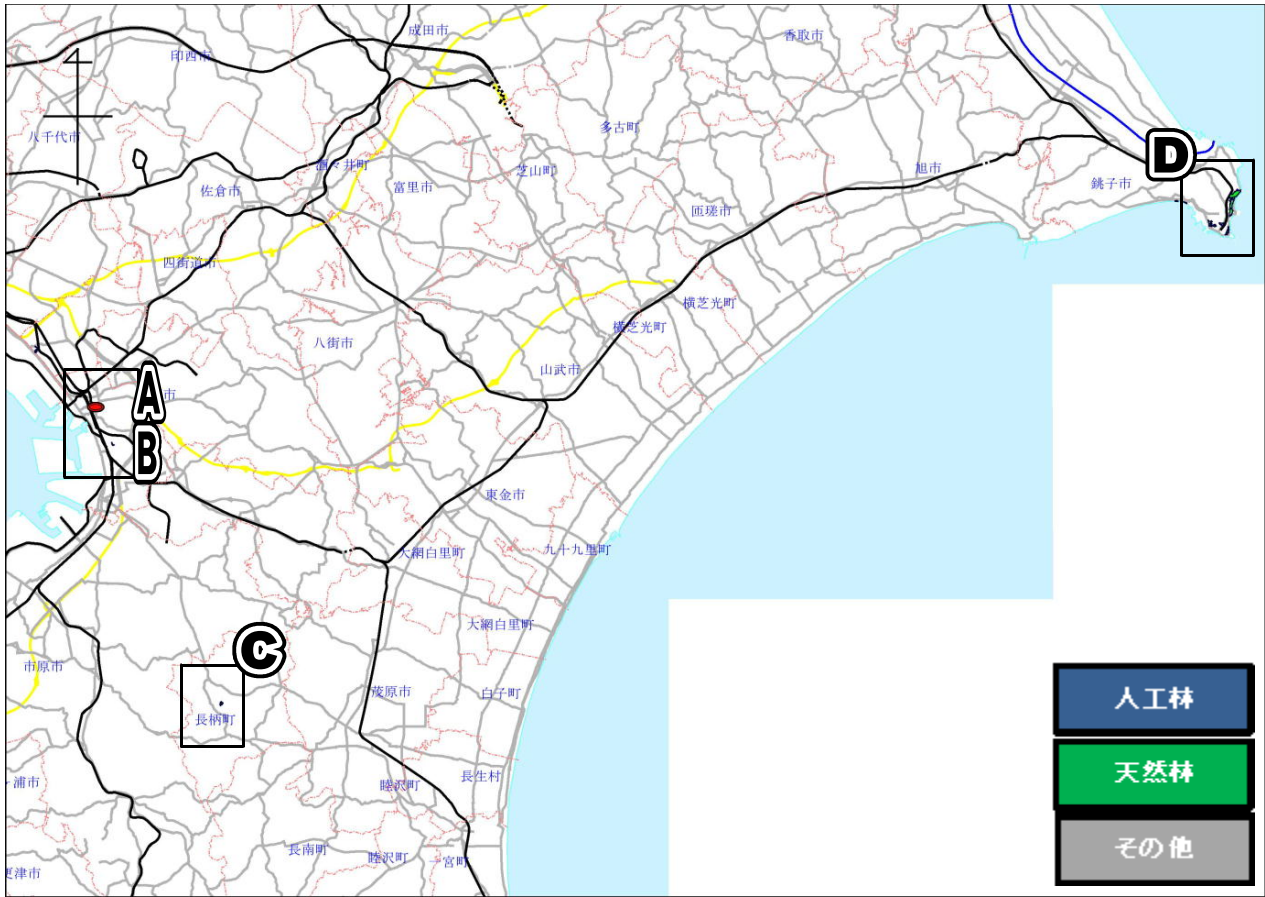
市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
千葉市	27,208	5,100	0.3	18.7	
銚子市	8,391	1,493	41.99	13.6	2.8
長柄町	4,720	2,112		44.7	
計	40,319	8,705	42.29	21.6	0.5

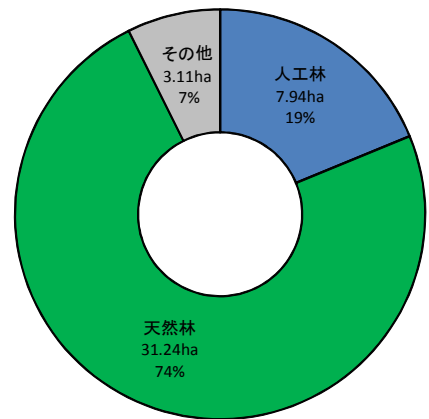
- 注) 1. 市町村面積は「平成18年度版千葉県統計年鑑」による。
 2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

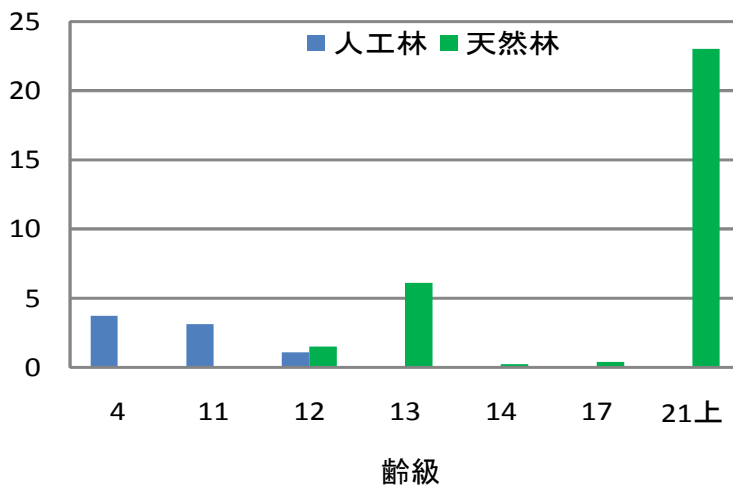


人工林・天然林別割合



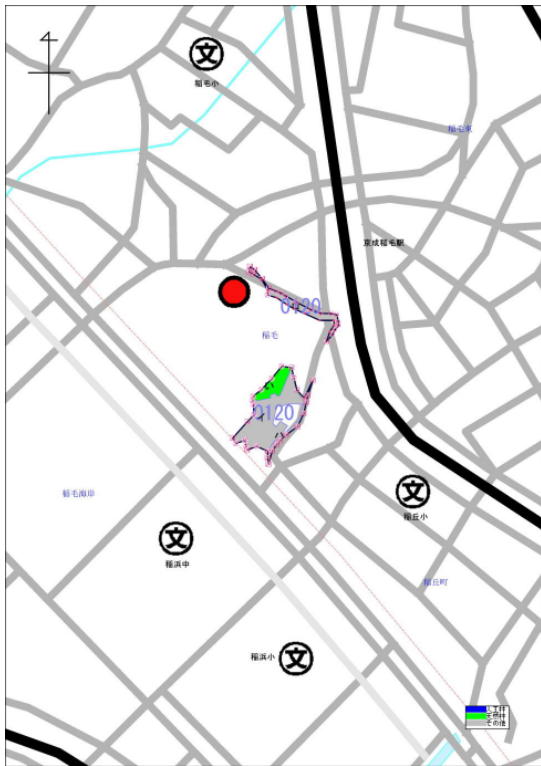
齢級別面積

面積 (ha)

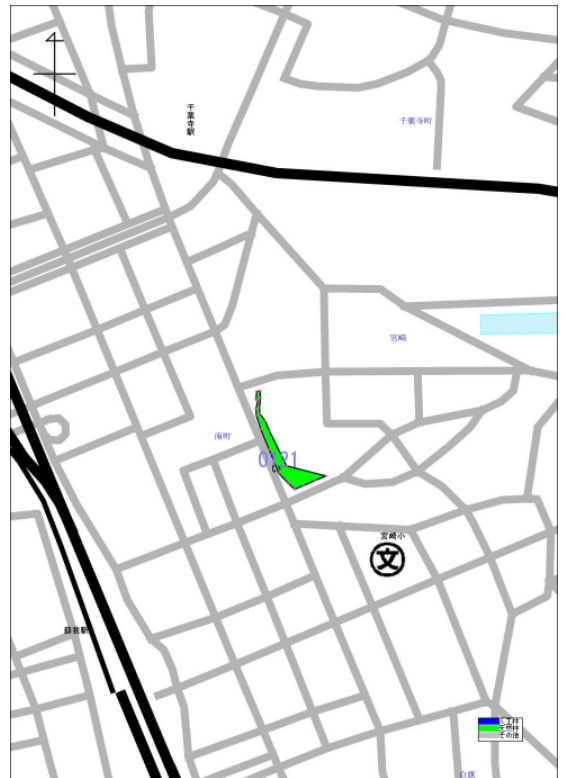


人工林・天然林ともに、主に海岸林としての防災機能の役割を果たしているため、適切な維持管理に努めます。

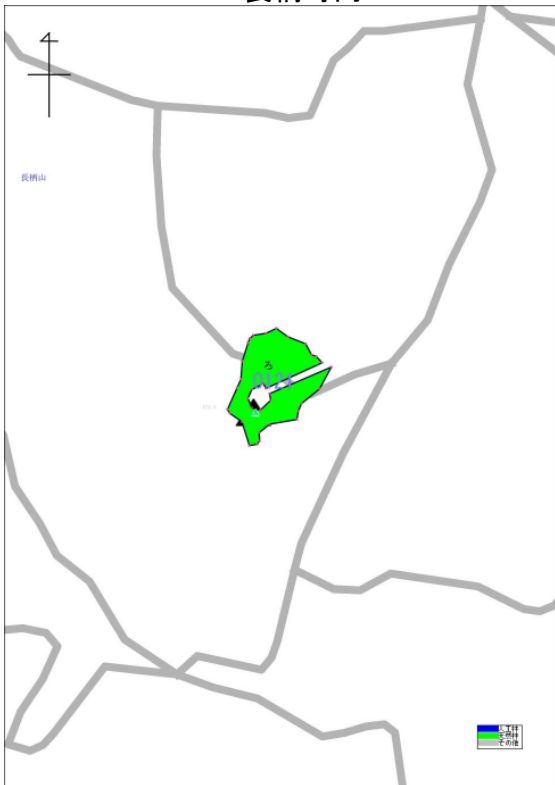
A 千葉市内



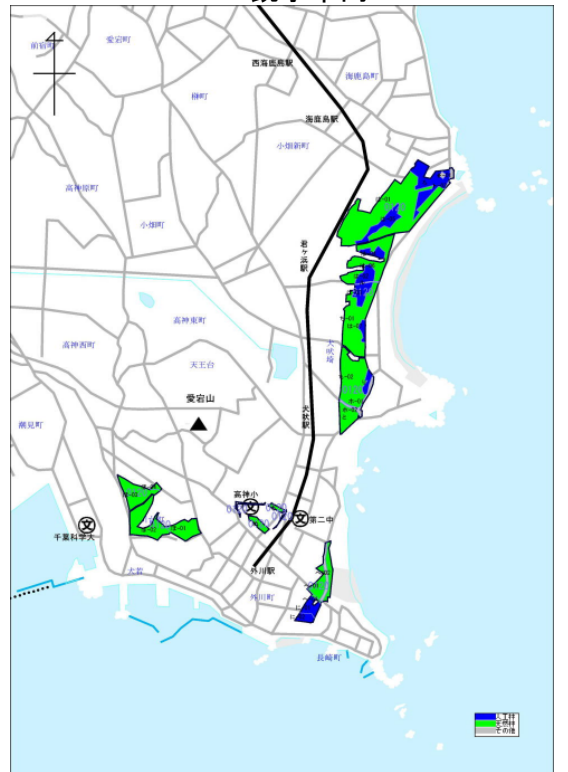
B 千葉市内



C 長柄町内



D 銚子市内



機能類型

機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

水土保持林		森林と人との共生林		資源の循環利用林
国土保全	水源かん養	自然維持	森林空間利用	
			42	
		42		

当計画区の機能類型は、森と人との共生林100%（森林空間利用タイプ 100%）となっています。



林野巡視



不法投棄重点監視地域